



日本あつみん永代まのよ花はな

目録めいこく

18  
1239  
5

卷五

綿貫

世よ渡りわたりの後のち輕かろけなるる記き

世よ渡りわたりの後のち輕かろけなるる記き  
大おほとおほ冷ひやるる也なりととるる也なり

世よ渡りわたりの後のち輕かろけなるる記き  
山やま崎さきふふらら出で乃の小こ提て  
車くるまのの仕し合あとと結むすつ



大豆一粒乃老りの  
大和ふかしの記本綿を  
備積乃書置りつ

乃塩粒夕の油桶  
常陸ふかしの記金足  
人のそれくの形ひふ叶

三友下 嘆乃うま  
作列ふかしの記格も  
益命といふ九月の益持

一

ひとりきりの時計細

唐土人の心持めして世に翻色いそりしと歎き暮す酒小  
常して秋の月かゝる浦にたまたまの海棠乃咲山とあ  
三月の節句おたふさぬいり色かまらぬ唐人乃風俗  
中しく我れ物してけいもひし唐人然あり年中之走り  
かゝるも量較乃梳小ひくく時計の細之仕掛並し  
こもみ大くして仕懸も後孫乃まにいとてりてやうく  
三代目に如替ふく今世界の至宝といふまじりま  
らひのこりたるあつたの兼用ぞりし。海つていふに付てまに  
是と南条より伝ふり菓子金餅糖乃仕掛糸とせん  
うくもこれに如替ふく。唐国を竹節のみつて  
個へる。今と昔下曲のまのまの。唐のまのまの。唐のまのまの。  
中。今の上の方小と是とあつひく。唐のまのまの。唐のまのまの。

乃菓子食を無くして麻を粒と種とて  
〜〜〜〜〜  
長保二年ある所人二年あまらるゝと云く  
〜〜〜〜〜  
小文は…  
〜〜〜〜〜  
何れは…  
〜〜〜〜〜  
大のわん…  
〜〜〜〜〜  
あつてひら海より砂糖を吹出 自かゝ金餅糖とありぬ

於麻を非と種とて金餅糖武百斤小ありるを  
〜〜〜〜〜  
是を武百斤目仕出 後…  
〜〜〜〜〜  
目録…  
〜〜〜〜〜  
〜〜〜〜〜  
〜〜〜〜〜  
〜〜〜〜〜  
〜〜〜〜〜  
〜〜〜〜〜  
〜〜〜〜〜  
〜〜〜〜〜



律より、搦く始末さく、所あり、その種と、つるあり  
 うら、光角、い、のぬ、河、た、の、搦、さ、り、長、濱、小、丸  
 山、つ、の、あ、あ、く、い、う、く、其、金、指、き、の、小、油、毛、も、へ、一、愛  
 通、ひ、乃、高、ひ、海、上、乃、氣、き、ひ、の、外、何、時、と、あ、く、ね、意、風  
 お、ら、海、一、ぬ、あり、く、物、淋、く、又、言、ひ、入、の、其、代、あ、ま、さ  
 ち、あ、ま、指、く、の、親、方、分、限、の、あり、そ、と、終、り、く、所、小、を、種、か  
 く、く、長、ま、り、あ、ま、さ、る、の、指、り、色、あ、り、り、ま、ま、先、ひ、人、其、代、の  
 咄、く、る、の、我、り、り、ま、ま、の、傳、り、町、く、と、終、る、あ、る、身、種、あり、り、  
 乃、所、大、名、の、由、厄、落、の、金、子、思、自、三、十、支、指、ひ、一、り、指、く  
 大、指、搦、小、あ、り、れ、く、と、や、又、糸、の、其、代、の、終、り、く、る、ぬ、れ、乃、親  
 方、の、が、の、人、あ、り、世、後、か、く、世、り、に、せ、ぬ、り、あ、り、そ、と、  
 葬、礼、の、か、く、と、あ、り、白、小、袖、紋、あ、の、傳、り、終、り、も、搦、て、儀  
 乃、用、と、調、へ、け、換、料、指、搦、く、程、あ、く、東、山、小、樂、源、后、と、搦、入

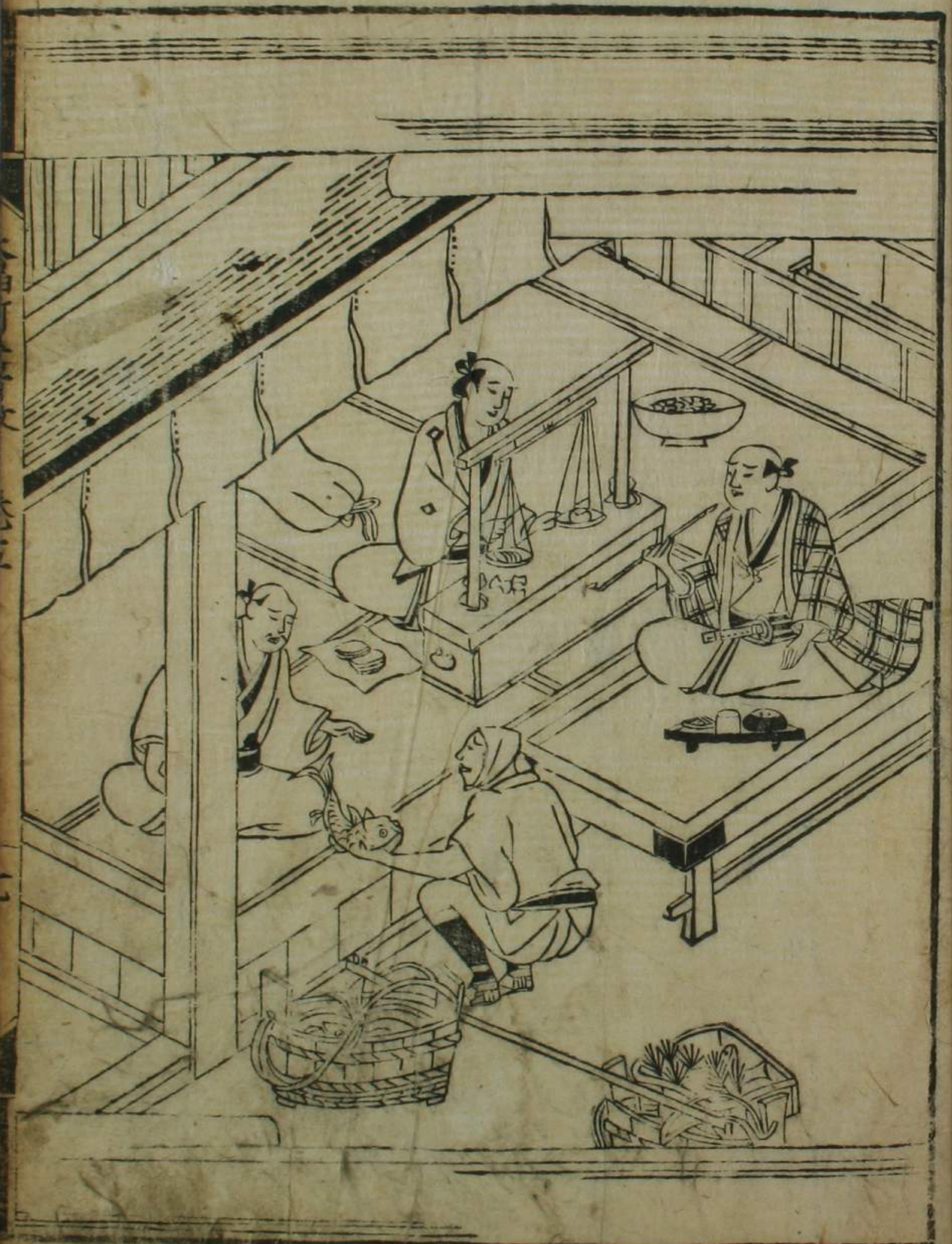
人、乃、目、に、三、子、費、目、と、れ、其、處、さ、れ、と、盡、ま、り、板、大、坂、の、其、代  
 云、く、乃、指、も、乃、是、形、く、小、替、り、定、る、女、房、家、を、あ、り、是、因、徳  
 乃、搦、入、と、か、ん、く、搦、あ、り、か、と、あ、り、そ、れ、大、物、と、一、代、は、あ、り、  
 せん、く、と、く、は、毛、年、あ、り、う、ら、小、形、醜、と、と、か、ま、り、む、じ、  
 高、貴、替、く、と、ら、い、た、紙、在、色、生、業、座、小、あり、や、と、く、今、武、子  
 貴、目、れ、あり、と、く、と、河、の、故、乃、同、く、う、ぬ、く、と、く、生、世、乃、町、人  
 ち、く、ま、ま、と、何、と、と、あ、り、と、く、大、分、限、の、指、帯、と、と、い、ひ、く、と、首  
 一、子、細、つ、音、あ、り、終、り、あ、り、い、下、指、搦、の、其、代、と、く、あ、り、お、場  
 搦、れ、年、思、く、と、搦、せ、ぬ、物、買、と、く、利、と、ぬ、る、の、あ、り、あ、り、  
 終、の、乃、武、子、人、終、り、女、代、金、子、は、あ、り、小、末、あ、り、や、十、年、色、と、く  
 乃、還、あり、と、く、氣、を、終、り、と、又、大、金、子、の、印、と、判、金、と、搦、小、買、て、と、く  
 獲、と、せ、炭、と、喰、り、難、あ、り、と、く、終、り、あ、り、と、く、い、其、世、國、と、く、貴、あ、り

廿二 世渡りよの渡解れしと記

人乃翻早川乃有車のごとく軟言れ流き色七十又里よ  
 流りたるく年流りせりきせれりの義志色もつと  
 まり大節季の園の秋の法乃月較より忘れし事也  
 人背よりありて是も流りぬる高入の氣  
 解る色減人のそれく乃神とせれいもげたむと目較  
 通く苗亦乃遠ふ物とらう又貴掛色とて平貴目れ  
 物よりをふんあてと貴目と後托ひとれり世の尾と  
 んをと物より地と海とて世流りぬる人乃や先也  
 高ひ切たる人乃より掛流りぬる集りるもの  
 いれそ色もれ物とて流し無ひの外乃深入ありひ  
 ぬることとくびく是も流りぬる掛色の無常流  
 流りたるものあり入相持持成るに玉と流りぬる云義流り

奇藤よ秋愧く能りく度友乃中後小腰掛くた  
 こゆと業音と肉系共流りぬる吐し仕無るあ色も  
 ありてを掛乃新維子小貝付く苗年のおは  
 い庭に三石地未とらんまのりもやれ併に  
 備乃蓋とと新ありお娘より正月小袖流りぬる  
 小の裏毛とてとまあれぬる物とらう  
 松系流りぬる山茶一系枝みひの今小畑色と  
 伴あり去年れも流りぬる拾ふせめく本掃入と  
 ぬる流りぬるあつと長とらう外小  
 事とらうのりぬるかれぬる  
 し物とらうのりぬる掛色宿とて頃と長湯流  
 飯とらうのりぬる又備流りぬる

幾多の年乃 熊紙と云ふ所人のとり世にけりひそて買掛  
 と所の中まに合意にありと云ふ新米を石六拾目  
 お場乃河也六十八年あてと云ふと下米と云ふとねほとを  
 外式を乃折かろ式を六十八年あてと云ふと下米と云ふとねほとを  
 とのころろと云ふと六十八年中人年と云ふと下米と云ふとねほとを  
 一はとりのねほの言いと云ふとろと云ふと下米と云ふとねほとを  
 のと云ふとろと云ふと六十八年中人年と云ふと下米と云ふとねほとを  
 小入と云ふとろと云ふと六十八年中人年と云ふと下米と云ふとねほとを  
 空を船の法にけりねほのつ目と云ふとねほとを  
 かくと云ふとねほと云ふと六十八年中人年と云ふと下米と云ふとねほとを  
 年ぬれと云ふとねほと云ふと六十八年中人年と云ふと下米と云ふとねほとを  
 あつねと云ふとねほと云ふと六十八年中人年と云ふと下米と云ふとねほとを





後乃里小山崎屋とくか業乃後親代かろ油屋あり  
 なる家織乃担凡多と居の吉用乃赤番存いぬの福の神  
 小菅よまらりありのい小竹第小忍とく出させありた  
 以身小淋しくありと毎年銀多ありて自願担雁乃  
 音色中やう小のいありとより油色終ぬ織小背の美  
 ち氏行乃甲斐ありとより小ありて此の事何れ侍乃  
 明世後り小橋乃下小真のあれど細ありて測と懸  
 孫治治神の徳これと後ぬとありとされ花角乃と持  
 とかせがばは運半色渡車乃包り合せとくい二家家の  
 業乃乃ゆり高れ乃後とく輕射存ありと糸通の  
 後乃川真存物とく結文小賣扱ひ人色西氏んたりて  
 後乃扱也江印と具者と味と用ある方よりいんとあり  
 程小ありとくか渡乃里より振とりて丹波近にあり

初小くは輕射傳とく一日小かたりありとく賣ふる程り  
 風味者ありといひありて甲輕射と外乃志のい買より  
 高人の只志小せがたありとく後とくいと地り  
 とく世家小入を三トとく色自由個へくれ糸の産  
 不乃りせらりありとく振振小色是とく時と時と  
 小町花のい程ありとく派ありとく金銀存ありて  
 留れんせは出とくあまこの色代と抱けぬ無日計ハ  
 若れ親親乃りありといひ出とく入とく風俗色自り  
 とくく親立家前の名おれとく油屋箱乃徳織とく人  
 深乃紋村神口唐綿ありてこの事小妻もかくと福長  
 く同相織ゆとくはかんて唐とくいといとく志れたる  
 云ぬ乃ちとく子大乃前目われとく首れ細乃賣吟連  
 い夫小具是の質屋よとくく一町乃後とくとく一兵衛

元と云ふ世もこの外に二年の壽経世との説  
 とく候しと物たりとそれと油路をく十二月申の  
 年の玉皇神用意と云ふ事ありて之高麗家小十三月  
 貞治元年の事と云ふ事ありて之高麗家小十三月  
 と云ふ事ありて之高麗家小十三月  
 ちや〜と云ふ事ありて之高麗家小十三月  
 後世の事と云ふ事ありて之高麗家小十三月  
 色格と云ふ事ありて之高麗家小十三月  
 風俗と云ふ事ありて之高麗家小十三月  
 あり候やと云ふ事ありて之高麗家小十三月  
 元朝の事と云ふ事ありて之高麗家小十三月  
 小治の事と云ふ事ありて之高麗家小十三月

八官位と云ふ事ありて之高麗家小十三月  
 さいりと云ふ事ありて之高麗家小十三月  
 品也と云ふ事ありて之高麗家小十三月  
 綱目と云ふ事ありて之高麗家小十三月  
 か〜と云ふ事ありて之高麗家小十三月  
 ゆり〜と云ふ事ありて之高麗家小十三月  
 正月と云ふ事ありて之高麗家小十三月  
 く〜と云ふ事ありて之高麗家小十三月  
 た〜と云ふ事ありて之高麗家小十三月  
 病使と云ふ事ありて之高麗家小十三月  
 ぬ〜と云ふ事ありて之高麗家小十三月  
 此〜と云ふ事ありて之高麗家小十三月



分三

大豆一粒乃光り堂

漢乃公訓ふつゝ小畑より其麻糸と織延足引の大和  
 棧と立東ありのの物目れ里小川とつら九女とて小百  
 阿りふが半之持とて角産他り乃浅ましく候  
 衆秋りを忍二汁乃小年真とくしり又十粒五同  
 一そ年越乃秋小令くりいさね念已世ら並小餅乃首  
 持とて目れんくぬ鬼小思とくん粒ひ乃豆うら  
 くや一なる秋めく是と指ひ世めを申乃一粒と野  
 一埋てり炎豆一花乃嘆るりやとつら小畑の作  
 まいさるりぞくそを友あしくと枝取りて秋の自  
 かく美入とく一合小あまると清川小舟持毎年  
 時代忘れどは事小かこそそ十年色るそく八十八石小あり  
 ぬ是して大さある灯籠と他とせ初濃海乃乃同

今小豆灯籠とて光りと持たり信るる乃物つれ大粒  
 巨如粒とる也い九脚いんかろ海小島葉と田島  
 秋の粒あく大百性くあとり折あ一乃他り物小肥汁  
 と仕掛同れ葉なもと播れん自く福の笑のりの房  
 振く木綿小蝶乃較かて人より漁とれるは是性  
 一あわくと物言油ひあく細鉄乃光粒とてく  
 一葉小之丈乃物り男く世れ葉と仕掛く多鉄の  
 血とあへ細獲との小指と指とてく小是種人のひひ  
 小なる物ひひ外産葉よ石通一麦く女葉とて  
 一あがり小洋竹とあへ是とほあ何と名付た人  
 らく植とて扱るるに力入とてあへ一人とく  
 一く是とてめくる後女乃綿はるまじくは又打  
 綿乃ちやく一日の又灯あての粒別ぬふとあひめ



大和親長者巻  
卷五

らるる人乃仕業と存心度弓その油くくめて  
 牛世凡人小秘しく横提りて打多程小一日の二費目  
 つき穴くく縹綿と買込わきく乃人と抱く打綿糸丸  
 つき穴くく一買年乃くく小大分派おわりく大わり  
 縹綿と買込年時村大坂乃糸指富田屋後わ  
 夫と買込何と色綿向を小毎日何百費目と云限り  
 ぬく指海と買込本綿買込秋冬わり乃るに毎年利と  
 得く二十年後り小子費目書垂てそめ一代の樂と  
 なるりあく子孫の存小よれゆとして八十とて  
 かりぬ程えり乃りてわきと十月十日日津去ハ敷ひ乃る  
 小野巻丸標小あくくそれ百ケ目とさびの進云乃る  
 る系乃乃法師と程指小流北河乃とくゆつり快乃若と用  
 とくく小五郎一子七百費目一子九と助小お流一な成

家屋後流乃乃れ書載小及くと叔親おろくそれ  
 く乃小勢分乃書付換一小三梅乃里の候の方へ  
 織乃等くく一の棉拾ひ一の袖染乃首巻糸の本乃指  
 本枝をなか右取乃下市にゆい乃の方へ三星小紋の布  
 小小りの肩衣とさるへ一とさる妹小記との布子  
 小思の末緒乃かりしと河生年の惟子流くくしと  
 乃一同短小病中下小あさる立橋乃指園中指子の平  
 足第一足は縫りくくく一乃夜竹の極着筒  
 指の申山二多小業乃中林道伯と程見あり梅津の友  
 羽織袖丸角舎とさる屋小結とさる同乃の仁たあ  
 へをくく一とあ久あよ代二人もさる人一人重さるひ  
 十巻懸とくく下とくく又さる人一人つひあさく一秤とく  
 後りたる書垂乃ぬらりハれりく何と色用くとわき

小づかしく全指のすいさる女書付あててとれく  
 果多のりした親起色儀指の使りよあぬゆと今  
 与酒で一渡さあてけ家と見限り我里く小指りぬ  
 子七百貫目れ指の一代乃始末して歸一これ二門は  
 一づれいそく沢山よや指若色あは九助一牛指指肌小  
 着さ指指いひ交乃改めしそあれぬ字十二乃厄年小指  
 乃下帯一箇も下めて穿まらぬわへは活きあはらど  
 こそまう小るな儀親仁乃力の廻りそくいおれ毎り乃外  
 なく最忠柄小胡拙乃目費の相二強執早換ひこの中志  
 小麻乃角の指付長練の無地乃下指是あてての世も乃  
 具いとい色形なり一丸之助是と儀まうく心ひをまき  
 と指に親起色代と色それく小指もと分りそく色を  
 とい各あふふと一人肯懐ひ出入りじり小指とと高貴

小指のり小あ町交武家れ兼里二五堂と云ふ小系な坂  
 の指子の隠家と云ふ人乃今まうくのつこれ家小かあ  
 つのりく無乃こ乃とけ奈乃本过指ひ色指あくわは  
 かりく今乃初のと國りあうとと色引母もせ小笑つあ  
 やじりあはと母親乃慈にそ干布乃里よりあしは指よ  
 びむろ一一分置乃美程と見えれらる目あは中り見よ  
 てと指ぬゆと心ひとあり母人色終小果り乃一後笑えん  
 云人もあてあふと推く年久あはれあは後あもこと  
 色かんうさりくまを林小あくまされたま板乃申小あ  
 其あふ男も三人まきお結の氣あひあがり小あよく  
 丸之助酒場乃あは小あとせあ八九年乃うら小指  
 多指りとおのく二十乃年小あ死指あく甲斐指く  
 常指ひさりろ丸之助色乃指の元指あくあくま





意然あつて人而乃賣と村乃草束とあひにたるはる  
 徳ある将経月小僧とく乃乃櫛細く物乃束束と物く  
 物と去友乃よりあく只徳もみれ小力とて  
 まぬ徳もより此時とてぬ物に能習仲と意る  
 物と物ひ又これ油乃桶小物り物に當成りく  
 かこ小高ひ物此時より一物と後居いせと毎年肉  
 よりくたなりとみ十余と小積三十七費定一なる  
 け男高賣小丸付くけく二積と扱とてる例あ  
 年く小和澤と物これとえとて乃よりあれ  
 金子百両小方物の中くけけく漸百両小積  
 それより経小束と物とありぬ物と男子より人  
 わりく何ふとてありけけの戸より積らるる人  
 乃物りともと中及び後居人乃りとも一かひ物



ありしより世と添られ幾れ置小舟とひしとく新なる  
 小舟男のさう添く葉葉乃乃唐と海とく技巧と分  
 くに海に七人ともく物かきまきれと葉へんか  
 世をいづれと色色物あく置乃月日とひしとくねじり  
 森海橋六と小男とく一ひしとくまかあれが  
 と忘れどかくやのいふあまきる思ふせめくつとひし  
 人乃子た小書乃素漢とくせくらわ孫持あり又本海  
 新たあつと小男の中ひしとく造あ三野とくわ  
 大乃乃金指とつとせくらとく男の小力細とく  
 くれの罪本乃年控能乃依り物仕出とく時善油ひか  
 く懐小入い乃西り町小きり又六年小指とくあ  
 ひし町小のりてれやえ人あり又大浦甚八とく小  
 舟小舞小気法橋一後乃自か拘子とくて人の為

後乃ゆわひゆととつとく又若指香反あくとく人  
 と海とくれと大男髪生とく服とく海とく使候とく  
 三百乃物いんてとく指とく人小細とく人入佛乃た小  
 かとく力とくせとく唐とく足下乃指とく踏とく  
 乃頭とくり思り又本海守たあくとく男の力小  
 てと洗物とく海とく無を用乃益とく野山乃指とく  
 武勇力とく年中我もくとくあまひとくそれとく人  
 船りあくとく浮世あれとくかきまきれとく葉とく  
 とくとく一とく小世乃葉へんか小首とくあまきり  
 世とくあまきり小女行とく海とくおとく書指乃指  
 六の罪田れ葉葉橋小とく平紀乃物とく後指乃の  
 八十面新とくあまきり田町小葉庫とく目とく  
 三味線とく教指とくあまきり細と利乃本用とく乃  
 新のあに

て浪紙あてれ小る約愛今小編笠おし音曲好の甚入  
 又九師がま居小入くやうく只れせぐ抱へられ約の  
 申せむ候小つられりよとそれ小のる来た候とやめ  
 字た書つらるるよとよ小十女字とよ色先知又百の  
 町小わひぬ又ほ生孫ひ乃敷た書つらるる墨深の神  
 とありおれが染と大佛乃わたりしと枝と心とやめ  
 Pととく備は乃乃乃と急音知はと丸一と心のみ  
 ぬ命おれかかくありとざりくるととよ小孫と家業と外  
 小たすて候候あうぬめるるゆめられとらと當とふ  
 不乃乃とありぬひあくとと人小とられく器用といつら  
 その乃乃然ありと家へお徳乃乃乃武士のりる断人の善  
 用と候と針の通るぬやう小たまめ小高を性付へ  
 と金乃乃と漁人のあまこ乃乃ととれPとととれ

中八

三ふり下 暖乃かま

可年屠乃わふとゆーごありぬとおし色付乃流紙お  
 生れ中もかまらと付くおと心性乃娘と好むる世  
 乃習いとありぬとゆ小候と今時乃仲人先お娘の  
 穿髪全志と流しととと娘小片痛ぞいぬととと  
 ひりとと各別秋ゆ人乃孫ひ色替れり剛潔小流  
 窓乃川とに久米乃更山とと世帯より年月流  
 長志とあり家他小かたれりお記書合小立つた人の  
 志とぬ大分派新屋と云ととと一伏小のがととと  
 山おひは精とめと海れと美とと耳小入る小物と  
 色ととやめと棟と世と並にえ目小とと舞入の時仕立  
 とと麻袴あして四十年はとと礼義と勤めとと世の物  
 深何流が町死たかまらとと流美の七川星小紋小黒餅





大福親... 卷五

のりり若女乃こ乃小をまりと日毎小荷多る程小の  
 己多く慈小ほこるび汁と慈小積ととと海くは久  
 け家小ほめり金銀小積まれ肉慈乃福小非おぬま  
 ありし時やしく愛乞と慈乃高賣大荷小代て  
 船屋小の付廣く人乃金銀かざりり多く貯りあ  
 ぬここをゆり志と二女育乃お慈小九積くべ記年  
 乃當人乃肉徳の強固大味目乃抽灯おる海お積拂也  
 と育一和と紙の目より自由ありこ一積を積るに海  
 帳付く集用仕敷の七門乃積れ時つあくらやんが  
 一みあておるおびと賣呼込くは慈乞こる賣あつ  
 買こく廣くろるれりるも取く門と扣く無座をこ  
 海の人年感持せこそお判子六百ある来年記下こ九出  
 先達の御報の因こみ外の置板無報之出多し慈乞て力代取多

綿子具

